

本震・前震周辺に見られた先駆的地震活動～2000年 M4.9 と1999年 M4.3 の地震

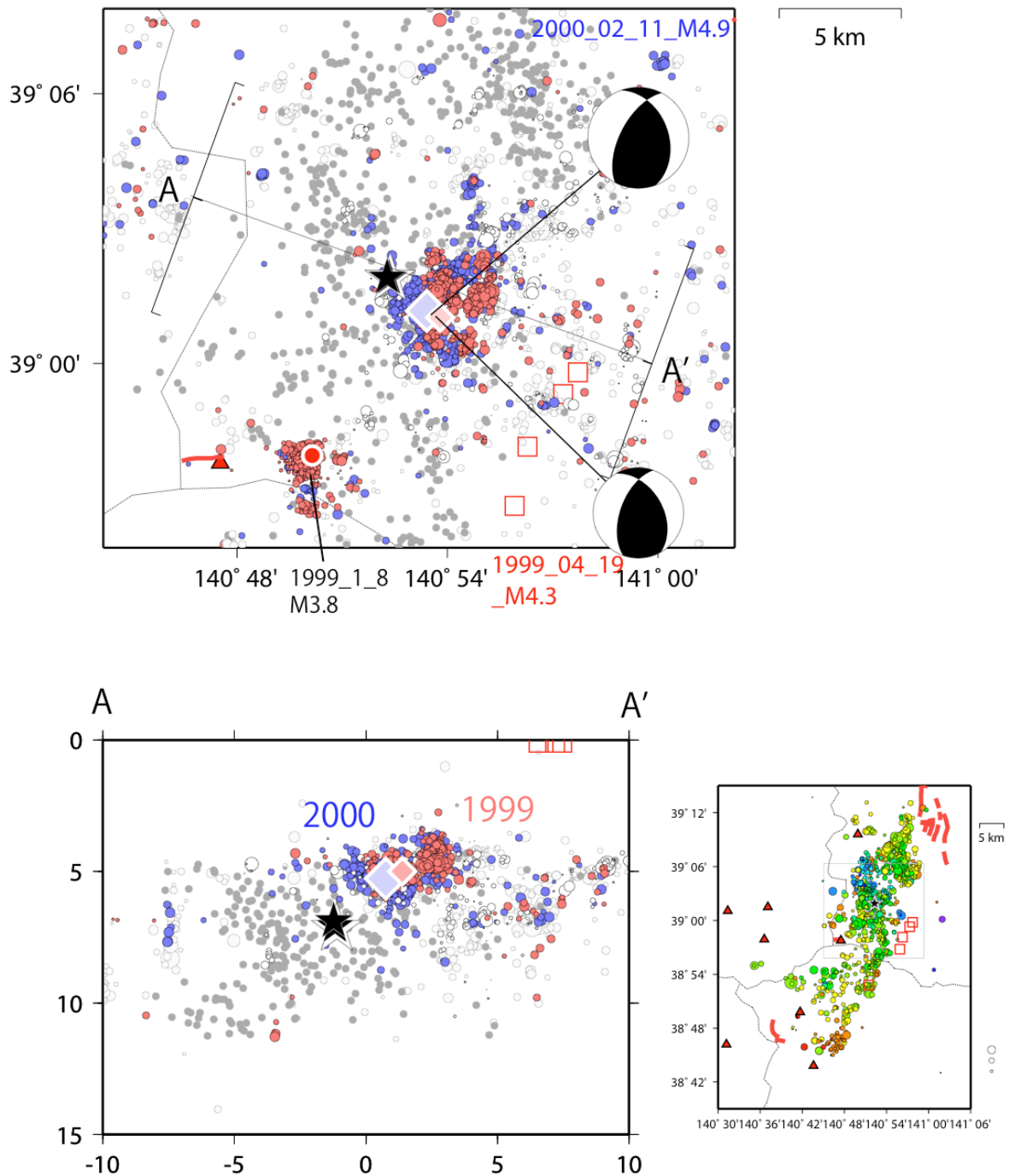


図8. 2008年岩手・宮城内陸地震震源付近における微小地震活動. 岡田・他(2008)による1997年から2008年までの震源分布を示す. 白☆, 黒★, 灰色○は2008年の地震の本震, 前震(8:01, 8:11), 余震(緊急合同余震観測によるもの)を示す. 赤は1999年の活動, 青は2000年の活動を示す. 赤◇は, 1999/4/19 M4.3の地震, 青◇は2000/2/11 M4.9の地震を示す. 赤線四角は2008年の地震に伴う地表面変状の位置. (上図)震央分布図. 1999/4/19 M4.3の地震, 2000/2/11 M4.9の地震のメカニズム解をあわせて示す. (下図)A-A'断面図. 1999年・2000年の地震の余震分布は西傾斜の傾向にあり, 2008年岩手・宮城内陸地震の余震の並びの浅部延長に位置することから, 同一断層面上での活動であると推定される. なお, 1999年・2000年の震源域(余震域)では, 今回の地震の余震活動は低調である.